

一般質問

市政全般にわたり17人の議員が質問しました。



相武台前駅周辺の環境整備について

松橋 淳郎 議員 《さまみ進会》

平成30年度予算では、相武台前駅南口周辺における土地利用の検討を進め、路線バスやコミュニティバスの利用状況に見合った駅前広場等の施設整備方針を定めるとともに事業化を目指すための予算措置がされています。

相武台前駅周辺の整備に関する事業の検討状況と地元への情報提供について、また、今後の具体的なスケジュールについて伺います。

市長 相武台前駅南口は、交通結節点としての機能強化が望まれる地区となってきました。駅直近に残る貴重な生産緑地等も活用し、関係地権者や地域の方々の協力を得



児童・生徒、そして災害時の避難所のため 体育館へのエアコン設置を求める！

星野 久美子 議員 《日本共産党》

今年の夏は本当に暑く7月23日には熊谷市で観測史上最高の気温41.1度を記録するなど、猛暑日や真夏日の日数も増え、最低気温も上昇しました。年々暑くなる夏の気温がこの先下がっていくことは考えられません。真夏の立野台小学校を訪問しましたが、教室はエアコンで快適でしたが、体育館は想像を超える暑さでした。また、今夏は大雨や台風による被害が全国でありました。災害時の避難所として公民館や学校の体育館が使用されます。公民館には冷暖房設備がありますが、体育館にはありません。

本市では、全ての小・中学校にエアコンが整備されましたが、児童・生徒が一年を通じてよりよい環境で学ぶためにも、また、体育館が災害時の避難所になることから、体育館の整備を進めることが必要であると考え、空調設備の設置を求めます。

教育部長 体育館のエアコン機器設置については、現状の建物では屋根、壁、窓の面積が広いなど、断熱性能が高いとは言えないことから、効率的なエアコンの効果は期待できず、設置は難しいものと考えています。市公共施設再整備計画との関連を踏まえて、大規模修繕などの際には考慮していきたいと考えています。



中学校給食の就学援助は前倒し支給や現物給付で申し込みやすく！

加藤 陽子 議員 《会派に属さない議員》

昨年8月から、選択制の中学校給食が全6校で実施となりました。昨年度の喫食率は全校平均で26.3%、就学援助を受けている必要保護世帯の生徒は27.9%、要保護世帯の生徒は申込率でおよそ25%でした。いずれも前年度より減少しています。

給食費用の助成が受けられるのに給食を申し込んでいない生徒が3割弱という現状について、選んで給食を申し込まないのか、申し込みにくさがあるのか、どのような昼食をとっているのかなど、子供たちの状況を把握する必要があります。税金を投入している事業であり、十分

な検証をすることで申込率を市民に説明できるものになると考えます。経済的に厳しい家庭の生徒の昼食状況に関する全クラス対象の調査が必要と考えますが見解を伺います。

また、命につながる食である給食は、後払いではなく前倒し支給や現物給付が必要と考えますが、見解を伺います。

教育長 昼食時の様子は担任が日々の生活の中で確認しており、改めての調査は必要ないと考えます。要保護、必要保護世帯においても必要とする場合に申し込んでいるものと確信しています。選択制のため前払いは難しく、現物給付は考えていません。



危険ブロック塀等の地震対策について

中澤 邦雄 議員 《日本共産党》

本年6月18日の大阪府北部を震源とする震度6弱の地震で、高槻市立小学校のプール外壁のブロック塀が倒壊し、通学途中の小学校4年生の女児が犠牲になりました。事故を受けて、本市では通学路や公共施設のブロック塀等の安全点検を実施したとのことですが、その結果と対策、予算措置について伺います。

市長室長 本市では、6月22日から公共施設におけるブロック塀等の安全点検を実施し、7月3日に21カ所の点検結果の報告があり、安全と思われる箇所が14カ所、注意が必要な箇所が7カ所ありました。市民球場の万年塀の老朽

化や東原プールの塀などに不適合があり、転倒防止対策や撤去措置が必要となったため、所要の予算を計上しました。

都市部長 通学路の点検結果では、通学路の総延長85キロメートルに対し、65件の危険が疑われるブロック塀がありました。市道では市内全域で280件程度あるものと推測しています。危険ブロック塀撤去費用の補助金として、通学路では撤去工事費用の4分の3で補助限度額15万円、その他の道路に面する場合は撤去工事費用の2分の1で補助限度額10万円を予定しており、575万円の補正予算を計上しています。



行動指定型ハザードマップの作成を！

高波 貴志 議員 《自民党・いさま》

災害対策として自宅周辺の危険情報をハザードマップで確認しておくことは必要です。新潟県三条市では、実際に大きな水害に遭った教訓を踏まえ、行動指定型のハザードマップを作成しています。本市のハザードマップの改定時には、三条市の取り組みを参考にし、より市民の避難行動に結びつくようなハザードマップや防災ガイドブックの作成を望みますが見解を伺います。

市長室長 三条市の豪雨災害対応ガイドブックは参考にしたいと考えています。市では、災害に対する日ごろの備えや地震や風水害に対する防災知識の普及啓発を目的に、

座間駅前周辺のホシノタニ団地は、企業と自治体がコラボし、老朽化した住宅にできるだけ抑えた投資を行い、市民の高い満足度が得られるような地域に開かれた交流の場として再生しています。一方で、商店の空洞化の問題があります。座間駅前の今後のあり方を行政に求めていくのではなく、商店街の方を中心とした地元の方々と未来を見据えた駅前まちづくりについて、本気になって立ち上がりなければならぬと強く受けとめています。今後の座間駅周辺のまちづくりをどのよう



座間駅前の今後について

熊切 和人 議員 《自民党・いさま》

座間駅前周辺のホシノタニ団地は、企業と自治体がコラボし、老朽化した住宅にできるだけ抑えた投資を行い、市民の高い満足度が得られるような地域に開かれた交流の場として再生しています。一方で、商店の空洞化の問題があります。座間駅前の今後のあり方を行政に求めていくのではなく、商店街の方を中心とした地元の方々と未来を見据えた駅前まちづくりについて、本気になって立ち上がりなければならぬと強く受けとめています。今後の座間駅周辺のまちづくりをどのよう

に考えているのか、市長の考えをお示しください。

市長 座間駅周辺の敷地を所有する小田急電鉄株式会社や地域住民の方々と信頼関係と相互理解、将来に向けての共通目標を立てていくことが必要と考えています。駅前の現在の状態の改善にはさまざまな課題がある中、皆さんで集まり課題を解決していくために議論を深めていくことで、将来に向けての考え方も、俯瞰していくこともできるようなになると思います。危機意識、課題認識は共有できており、それをどのように改善していくのかについては考え方をまとめていかなければなりません。そのため場づくりも考えていきたいと思います。

会議録をご覧ください

座間市議会だよりでは、各議員の文責により質問・答弁・討論の発言の一部を抜粋して掲載しています。詳細は会議録をご覧ください。

パソコンやスマートフォンから市議会のホームページでご覧いただけます。また、市役所1階の市民情報コーナー、図書館でもご覧いただけます。

なお、9月定例会の会議録は11月下旬ごろから閲覧できます。